

思いを胸に旅立つ

卒業式



3月1日には奥尻高等学校で町立移管後初めての卒業式が、3月15日には各中学校の校舎で最後の卒業式が、また、16日は各幼稚園で、17日は各小学校でそれぞれ卒業式が執り行われ、卒業生が在校生や保護者の方々に見送られながら母校を巣立っていきました。

卒業後は、それぞれが次のステップへ進むこととなりますが、学校生活を共に過ごした仲間やいつでも支えてくれた先生方、保護者の方への感謝を胸に未来へ歩む決意を新たにしました。



青苗幼稚園卒園式



奥尻小学校卒業式



奥尻高校卒業式



奥尻幼稚園卒園式



奥尻中学校卒業式

奥尻町QOL調査の結果は…？

2月下旬、一般社団法人イクシュンシリ・デザインと慶応義塾大学大学院SDMが共同で行う人材育成事業の一環として、奥尻高校の生徒が参加している「奥尻町のQOL（クオリティ・オブ・ライフ）調査」の発表会が行われました。発表を担当した3名の生徒は、会場に集まった50名を超える聴衆に堂々とした態度で発表を行いました。

QOL調査では奥尻島の生活について様々な視点から質問をした結果、「奥尻島に住み続けたくない」と回答した層に着目し、「仕事場・隣人関係に不満がある」「自然と触れ合う回数が少ない」などの共通点があることを発見しました。この調査結果は今年行われるQOLの本調査に反映されることとなっています。

調査結果についての感想では「隣人関係に不満があるという結果には驚いた」と予想外の結果について触れつつ、「今回の結果から、どうやって『奥尻に住みたい・住み続けたい』と思ってもらえるか、さらに調査を続けたい」と発表を結びました。

なお、奥尻町での開催に先立って、2月中旬に慶応義塾大学日吉キャンパス（横浜市）で大学院生、社会人に向けて同様の発表を行いました。



石井ちゃんとバリアフリーレジャー推進講演会

2月下旬、海洋研修センターで観光のバリアフリー化についての講演会が開催されました。石井ちゃんの愛称で親しまれている奥尻島観光大使の石井雅子さんと番組ディレクターの山田もと子さんが、ユニバーサルデザインをテーマにした番組「石井ちゃんとゆく！」を通して体験したこと、学んだことを軽快なトークとともに語り、住民の方々は真剣な表情でお話に耳を傾けていました。

石井さんは「すべての障害を完璧にカバーする設備を作ることはできません。けれど、その隙間を人の力で埋めていくことができるんです」と話し、奥尻町の観光について「すべてをバリアフリー化して、元々の魅力を殺してしまうのはもったいない。観光に来るお客さんは、その魅力を求めてきています。だから、あらかじめここにはこんなバリア（段差や、階段、トイレや浴室などの状態）がありますと写真等を使ってわかりやすく開示することで、お客さんは自分たちで対策をして来てくれます。もちろん、そのためにはまずお客さんが『奥尻町へ来たい！』と思ってくれるようなPRも大切です」など、熱い思いを語ってくれました。



●ユニバーサルデザインとは？

「性別や年齢、障害の有無に関係なく、すべての人が使いやすいデザイン」のことです。

各学校等入学式の日程

平成29年度の各学校の入学式と各幼稚園の入園式の日程を次のとおりお知らせします。



学校等の名称	入園・入学式の日程	入園・入学予定者
奥尻幼稚園	12日(水) 午前10時	20名
青苗幼稚園	11日(火) 午前10時	1名
奥尻小学校	6日(木) 午前10時	5名
青苗小学校	6日(木) 午前10時	11名
奥尻中学校	7日(金) 午前9時45分	15名
奥尻高等学校	10日(月) 午後1時	16名

匠の技で蘇る切れ味

奥尻技能者協会では、毎年冬の時期に行っている地域貢献活動「包丁研ぎボランティア」を2月18日に行いました。

海洋研修センターや町民センターなど各地区から集まった合計105丁もの包丁を参加した会員14名で丁寧に研ぎあげました。

いつも料理の際には欠かせない身近な道具も、大事に手入れをすることで末永く活躍してくれそうです。



奥尻町一斉クリーンアップ作戦

平成29年4月15日(土) AM8:00～



春の足音が少しずつ近づき、冬の間、雪で目立たなかった道路脇の空き缶や海岸等に漂着したゴミが目につくようになりました。

町では、間もなく始まる観光シーズンを前に今年も『奥尻町クリーンアップ作戦・海浜清掃』を実施します。

町民皆さんで力を合わせ、まちをキレイにしましょう。

(詳しい内容については後日回覧でお知らせします)

お元気サロン (介護予防教室)

小学校に 雑巾を プレゼント

「いつまでも奥尻で元気に暮らしたい！」そんな高齢者の方々が集まり、楽しく介護予防に取り組む「お元気サロン」が開催されました。閉じこもりがちになる2～3月の冬期間、各地区4か所で行われたものです。

毎年、手芸や工作などで手先を動かし、みんなでおしゃべりして楽しい時間を過ごします。

今年はその時間を活用し、小学校の児童たちに使ってもらう雑巾づくりを行いました。

若いころから着物や布団など、なんでも自分たちで作ってこられた参加者のみなさん、雑巾を縫うのはお手のもの…「子供たちのために」と、かわいらしいデザインを考えたり、家へ持ち帰って「宿題」として作ってきたり、掃除をしている児童たちの姿を思い浮かべながら一生懸命作成しました。

完成した雑巾は、奥尻・青苗の各小学校へ寄贈され、小学校では雑巾のデザインを楽しんだり、作ってくれた高齢者の方を思い、掃除に励んでもらえると嬉しいですね！

